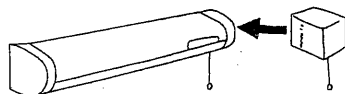


△ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。)⑪

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。
ランプの種類は器具のランプシールをご確認ください。
交換用のランプは器具の指定のものを必ず
ご使用ください。

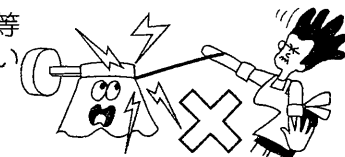
○器具を改造したり、部
品を追加・変更して使
用しないでください。



感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○器具やランプを布や紙等でおおわないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○器具のすきまや放熱穴等
に金属類を差し込まない
でください。



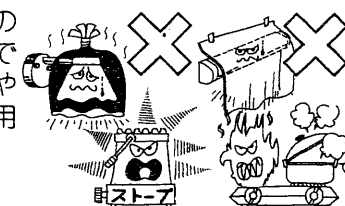
感電・故障の原因になります。

○点灯中および消灯直後は
器具やランプが高温にな
っていますので素手で触
らないでください。



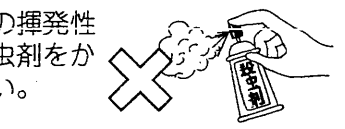
やけどの原因になります。しばらくしてから取り
扱ってください。

○器具の下にストーブ等の
高温のものを置かないで
ください。また、燃えや
すいものを近づけて使用
しないでください。



火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○シンナーやベンジン等の揮発性
のもので拭いたり、殺虫剤をか
けたりしないでください。



変質・故障の原因になります。

○器具やランプに着色等をしないでください。

焼損・過熱・故障の原因になります。

○器具をまるごと水洗いしないでください。

感電・焼損・故障の原因になります。

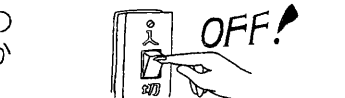
○ランプ交換の際、ランプホルダーやランプ支持バネ
を強く弾かないでください。

ランプの破損・けがの原因になります。

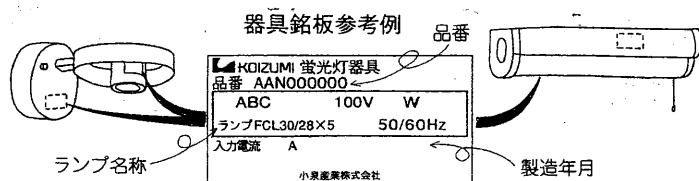
○多灯用器具は間引き点灯しないでください。

過大電流により、安定器の短寿命の原因になります。

△お手入れやランプ交換の
時は必ず電源を切ってか
ら行ってください。



通電のまま行なうと、感電の原因になります。

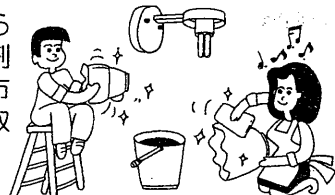


△器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速や
かに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。

△ランプ交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書
の指定の種類・ワット数のランプをご使用ください。
間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原
因になります。

△器具の汚れは乾いた柔ら
かい布、または中性洗剤
を浸透させた柔らかい布
をよく絞ってから拭き取
ってください。



感電・焼損・故障の原因になります。

△点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具やラン
プに損傷等がないかを確認してください。

異常がありましたら、購入店にご相談ください。

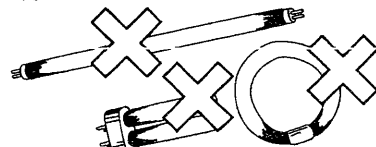
△環形蛍光ランプの場合、ランプの大きさを間違わな
いようにソケットに取付けてください。

間違った場合、過熱・ランプの短寿命の原因にな
ります。

△環形蛍光ランプの場合、口金は多少動くように作ら
れています。

無理に回すと、ランプの破損の原因になります。

△ランプの端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めに
ランプ交換を行なってください。



照度のことを考慮しますと、経済的であると言え
ます。

△点灯中および消灯後に音が発生する場合があります。
熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合
は購入店にお申し出ください。

△器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑
音が入る場合があります。

器具と音響製品を離してご使用ください。

△器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場
合、誤動作することがあります。

器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。

△ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合
は、直ちに電源を切りランプを交換してください。

放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

商品のお問い合わせは・・・・・・フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは・・・・・・(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

●北海道サービスセンター ☎011 (813) 4297 ●神奈川サービスセンター ☎0463 (95) 8008 ●関西サービスセンター ☎0729 (85) 5521
●東北サービスセンター ☎022 (236) 4272 ●中部サービスセンター ☎0568 (75) 5931 ●岡山サービスセンター ☎086 (298) 3496
●関東サービスセンター ☎0489 (28) 4381 ●北陸サービスセンター ☎0762 (49) 3205 ●広島サービスセンター ☎082 (249) 1018
●九州サービスセンター ☎092 (622) 4010

小泉産業株式会社

照明事業部 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 ☎06 (262) 0861

KOIZUMI

蛍光灯ブラケット

品 番 AB-61994・61997



- ・ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- ・器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
- ・一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ・ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- ・工事店様・電器店様へ・・・工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

■取付前に必ず確認してください

警告

- この器具は非防水です。湿気が多い場所や水のかかる場
所では使用できません。
→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの
影響を受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおって使用しないでくだ
さい。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しない
でください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行ってくださ
い。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取り扱説明書に
従って確実に行ってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- 器具の取付けには方向性があります。器具表示及び取扱
説明書に従って確実に取付けてください。
→取付けに不備があると落下・過熱・けがの原因にな
ります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術
基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因に
なります。

注意

- この器具は屋内専用器具です。屋外や屋側では使用で
きません。
→火災・感電・故障の原因になります。
- この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井等には
取付けできません。
→落下・焼損・過熱の原因になります。
- 白熱灯用調光器(コントローラ)は使用できません。
→器具や調光器の焼損・過熱・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原
因になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具やランプが高温になっていま
すので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。

- この器具は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の中
で使用してください。
→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原
因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり
点灯しないことがあります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違えて器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定
器等の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。
必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があっている
か確認してください。
→間違えて使用しますとランプや安定器等の短寿命及
び火災・過熱・故障の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けされている場合はその指示
に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の
原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。
CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

このマークのついている説明文
は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS
MARK.



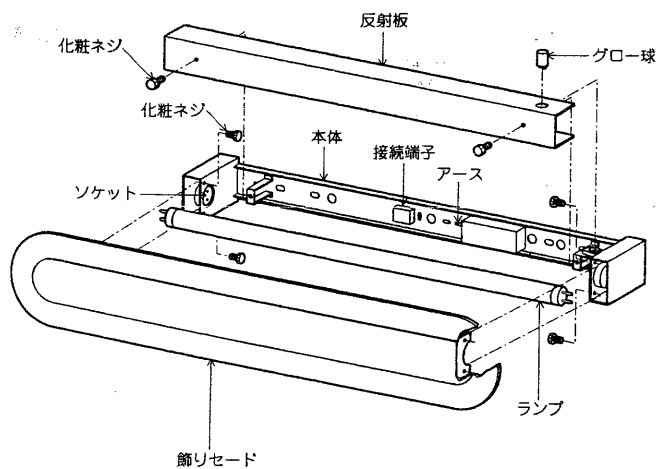
このマークのついている説明文
は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH
THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△ 部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

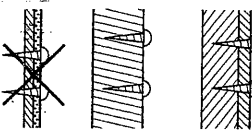


品番 AB-61994・61997

■取付けの際に特に守ってください

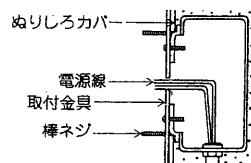
△ネジ止めのご注意

- ベニヤ板等の強度の弱い箇所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
- ・器具の落下の原因になります。



△電気工事

- 素人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- ・取付金具を取付ネジで壁面へ取付けてください。



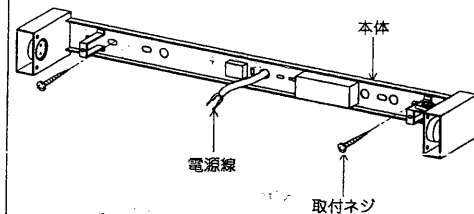
- △ 取付面が十分乾燥していることを確認の上、取付けてください。
- ・器具や取付面の変色の原因になります。

■取付順序と操作方法

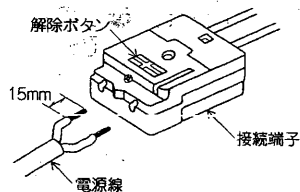
○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると落下・けが・過熱の原因になります。

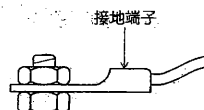
- ① 本体に電源線を通し、付属の取付ネジで壁面に取付けてください。



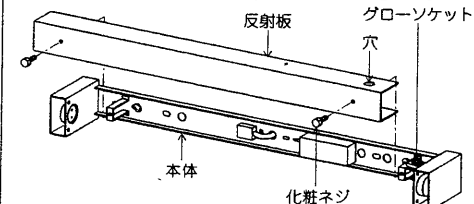
- ② 接続端子のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむいてください。電源線差込穴に電源線を強く差し込んでください。はずす時は解除ボタンを押してください。



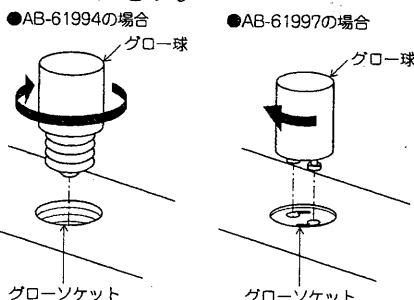
- ③ AB-61997の場合、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。



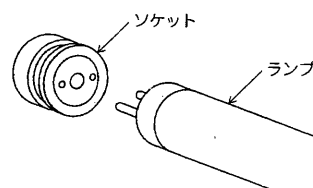
- ④ 反射板を本体に合わせて、化粧ネジで取付けてください。反射板には方向性があります。反射板の穴がグローソケットの上にくるように取付けてください。



- ⑤ グロー球をグローソケットに取付けてください。

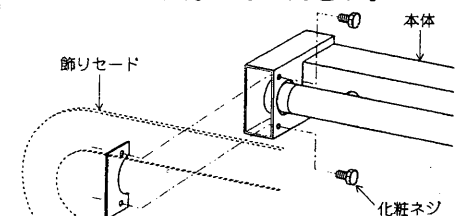


- ⑥ ランプをソケットに押しあてて取付けてください。

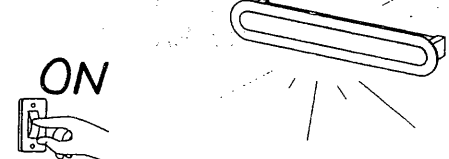


△ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。破損・落下の原因になります。

- ⑦ 飾りセードを本体に合わせて、化粧ネジで取付けてください。



- ⑧ 電源を入れて、点灯を確かめてください。



△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。素人工事は危険です。

取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

■器具のお手入れ

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。



やけどのおそれあり

点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください

(1) ランプの交換方法

- ① 電源を切ってから行なってください。
- ② 飾りセードを■取付順序の⑦を参考に取外してください。
- ③ ■取付順序の⑥を参考に指定のランプと交換してください。(指定ランプは器具銘板をご確認ください。)
- ④ 飾りセードを■取付順序の⑦を参考に取付けてください。(グロー球の交換は■取付順序の⑤を参考に交換してください。)

(2) 飾りセードのお掃除

- ① 電源を切ってから行なってください。
- ② 飾りセードを■取付順序の⑦を参考に取外してください。
- ③ 乾いた柔らかい布等で飾りセードの汚れを拭き取ってください。
- ④ 飾りセードを■取付順序の⑦を参考に取付けてください。

■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。専門家(工事店・電器店)による器具の点検(3～5年に1回)を行なってください。ランプ(電球)を交換しても暗いと感じたり、器具の汚れが落ちにくくなったり、部品交換による修理が不能となったときは専門家に相談し、不具合がありましたら適切に処置してください。